

防災リーダー

養成講座開始

県と山梨大共催

自治体の指示がなくても住民を避難誘導できる力量を持つ防災リーダーを育てようと、県と山梨大共催の養成講座が22日、甲府市内で始まった。17市町村の職員と一般から総勢72人が参

加。計4回の講座を修了すると、12月にある防災士の資格取得試験を受けることができる。

講義で、興水達司・県立大特任教授は「自然現象と人間の生活圏が重なったところで災害は起きる」と説明。鈴木猛康・山梨大教授は「調査が進むに従い、新たな断層が見つかる。糸魚川―静岡構造線以外の県内

の大断層を想定する学者もいる」と紹介した。